

市制60周年（合併5周年）記念式典を開催

関市が誕生してからちょうど60年に当たる10月15日、関市文化会館にて市制60周年（合併5周年）記念式典が盛大に開催されました。式典では、各分野で市の振興や発展に尽力された方々に、その功績をたたえて表彰が行われたほか、ミネハハさんによる記念コンサートもあり、洞戸小学校4～5年生児童も合唱で共演して節目の年を祝いました。



▲市制60周年のあいさつを述べる尾藤市長（上）。記念コンサートでは洞戸小学校4～5年生がミネハハさんと共に演しました。

市制60周年・合併5周年記念式典に、多くの市民の皆さんにご来場いただき、誠にありがとうございました。当団は、名誉市民の岸田昌久さんをはじめ、地方自治や産業、社会福祉、保健衛生、教育文化などの分野で優れた業績を残され、関市の発展にご功労の方々が表彰を受けられました。その献身的なご尽力と、日々のご労苦に、深く敬意を表します。

関市は、戦後復興期の昭和25年10月15日、県下で5番目の市として産声をあげた後、多くの苦難を一つ一つ乗り越え、中濃地域の政治・経済、教育・文化などの中心都市として順調に発展を遂げることができました。

そして、平成17年2月、武儀郡5町村と合併し、新しい関市に生まれ変わりました。清流長良川をはじめとする豊かな自然を舞台として、本年6月には、天皇皇后両陛下のご臨席を仰ぎ、市民総参加による「第30回全国豊かな海づくり大会」が開催できたことは、この上ない喜びです。

60周年の節目を迎え、私たちは未来の子どもたちのために、今、何をすべきかを改めて考える必要があります。災害に対応できる安全・安心のまちづくり、安心して子どもを生み育てられる環境整備、医療・福祉体制の充実など、今を生きる私たちに与えられた使命は、極めて大きなものがあります。

私たちは互いに手を取り合い、絆を深め、英知を結集し、未来のまちづくりを進めていかなければなりません。本年が関市にとってさらなる発展と飛躍の年として、新たな1ページが歴史に刻まれることを心から願うとともに、夢のあるまちづくりを進めていくことを誓います。



尾藤義昭 市長



▲表彰を受けられた市政功労者の皆さん。表彰された方々については、広報せき10月15日号で紹介しましたのでご覧ください。



▲特別感謝状を受けられる前市長の後藤昭夫さん



▶表彰を受けられる名誉市民の岸田昌久さん(上)と人間国宝の土屋順紀さん(下)

関市制60周年記念誌 「セキノ キセキ(関の軌跡)」

関市誕生から60年の歩みを写真と年表で振り返る記念誌を先着1000人の方にあ渡します。

「巻頭写真集 関の宝石」では合併後の関市の美しい自然などを紹介し、「関市60年の足跡」では合併前の武儀郡5町村の主な出来事も紹介しています。ご希望の方は、市役所広報課または西部支所、各地域事務所までお問い合わせください。

照会先 広報課

☎ ②6806

FAX ②7744

